

朝霞台中央総合病院のNST活動について



NSTってなんですか？

NSTとはNutrition Support Team(栄養サポートチーム)の略語で、患者様の栄養状態の改善に努めることを目的に、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、言語聴覚士、医療事務職員等の各職種がそれぞれの専門知識と技術を活かして、より安全かつ有効な栄養療法を行うための医療チームのことです。

NSTは、1960年代米国で誕生し、その後欧米を中心に世界各地に広がりました。日本でも、1990年代後半から栄養療法の重要性が言われるようになり、多くの病院ではNSTが結成されるようになってきています。



朝霞台中央総合病院のNST

当院のNST活動は平成16年2月に始まりました。現在6年目を迎え、入院している全ての患者様に対して栄養サポートを行っています。栄養状態が悪くなると体力が落ちます。そして治癒力、免疫力が低下してしまい、様々な合併症をおこしやすくなります。例えば、食物を飲み込む力が弱くなってしまうと誤嚥による重症の肺炎を起こしたり、寝たきりの患者様の場合は栄養状態の不良から褥瘡(床ずれ)が発生しやすくなります。このような合併症が起きると元々の病気の治癒も遅れ、入院期間が長くなってしまふことが懸念されます。病気を早く治して、順調な経過で退院するためには、薬の治療や手術などと同じように、良好な栄養状態を保つ事がとても大切な事だと考えられます。



NSTでは入院時・入院中の患者様の栄養状態、病態と栄養の投与及び摂取状態を把握するように努めています。栄養状態が悪い時や今後栄養状態が悪化する危険性のある場合は、チームでその患者様にとって一番適している栄養療法を提案し、経過を確認しながら栄養サポートを行います。このようにして患者様の早期回復、合併症や褥瘡の予防を目指して、活動をしています。

また職員全体の栄養管理に関する知識と理解を深めるために、定期的に勉強会を行っています。朝霞台中央総合病院のみならず、TMGの他の病院のスタッフもこちらの勉強会に参加しています。



当院のNST活動が認められ、平成21年1月28日に日本静脈経腸学会において朝霞台中央総合病院がNST稼働認定施設として認定されました。